

〈共通論題〉

アジアの経済成長を支える金融規制とは？

みずほ総合研究所 杉浦 哲郎

論点1：アジアはなぜ2008-09金融危機の影響を強く受けなかったのか

- ・ マクロ経済構造の変化（外貨準備の蓄積、貯蓄過剰化）
- ・ アジア金融危機後の制度整備、金融機関の対応
- ・ 金融機関のビジネスモデル

論点2：アジアの金融システムはどのようにして高成長を支えてきたのか

- ・ 各経済主体の貯蓄投資バランスの特徴とその背景
- ・ 金融システムの特徴と金融機関・金融市場の役割（商業銀行モデル、市場型間接金融モデル等）
- ・ 金融政策の手段と有効性
- ・ 国毎の差異

論点3：アジア型金融システムの頑健性・脆弱性はどこにあるのか

- ・ 金融機関のバランスシート、ビジネスラインと収益力
- ・ 規制・監督の有効性、当局の関与
- ・ 対外資本移動の影響

論点4：アジアの今後の成長パターンと適格的な金融システム

- ・ 輸出主導型から内需（消費）主導型へ
- ・ 国家資本主義（産業政策）型成長から市場主導型成長へ
- ・ 受託型経済から内製型経済へ、大企業寡占型市場から中小企業・ベンチャー分立型市場へ（東日本大震災後のサプライチェーンの変容を踏まえて）
- ・ それに相応しいアジア型金融モデルとはどのようなものか

論点5：アジアに相応しい金融規制

- ・ 各国金融当局の考え方
- ・ BASEL III は今後のアジア型金融モデルに適格的か
- ・ アジアにおいてより効率的・安定的な金融規制の枠組み（試案）